

事務事業名	広報ひらかた発行事業											
事業開始年度	昭和26年度				担当部署		市長公室 広報課					
根拠法令	枚方市広報紙発行規則											
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)											
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(デザイン、印刷、配布などを業者に委託)											
目的 (何のために)	市民の皆さんに行政情報を正確に分かりやすく伝えることに加え、まちの話題や市民の声を紹介することで本市の魅力を発信し、そのことにより市政やまちづくりへの参加を促進する一助としていただく。											
対象 (誰・何を対象に)	市民											
事業内容	(発行形態) ・A4判52ページの通常号を月1回発行。また、12ページまたは8ページの特集号を年4回を限度に発行。 ・約18万世帯に全戸配布。・視覚障害者向けに点字録音版も発行。 (内容) ・テーマを持って掘り下げた特集、市政ニュース、求人や安心安全・健診・子育て情報、各種講座・イベントなどのお知らせ、まちの話題などを分かりやすくタイムリーに掲載している。 ・市内の歴史や、活躍している市民を紹介するコーナー、小・中学生に様々な仕事を紹介するコーナーや市民がレポートする特派員コーナーなど、幅広い世代の市民に親しまれる紙面作りを行っている。 ・より良い広報紙を目指し、年1回は紙面構成やコーナーを見直しリニューアルを実施している。											
事業の必要性	市の施策や魅力などについて、広報ひらかたを通じ正確かつ分かりやすく市民の皆さんにお伝えすることは、市の責務であるため、本事業は必要である。											
コスト												
		H20年度決算				H21年度決算				H22年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	千円	従事職員数	概算人件費	千円	従事職員数	概算人件費	千円	千円	
正職員	4.1	人	34,276	千円	4.0	人	33,032	千円	4.0	人	32,128	千円
再任用職員		人		千円		人		千円		人		千円
非常勤職員等	2.0	人	4,080	千円	2.0	人	4,080	千円	2.0	人	4,080	千円
人件費計(A)			38,356	千円			37,112	千円			36,208	千円
直接経費(B)			88,789	千円			85,375	千円			115,124	千円
総事業費(A+B)			127,145	千円			122,487	千円			151,332	千円
財源内訳												
		H20年度決算				H21年度決算				H22年度当初予算		
国庫支出金			3874	千円			4,108	千円			4,223	千円
府支出金			1937	千円			1,969	千円			2,111	千円
受益者負担 (使用料等)				千円				千円				千円
その他			7,800	千円			9,531	千円			4,536	千円
一般財源			113,534	千円			106,879	千円			140,462	千円
平成21年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容										金 額	
	広報ひらかた発行経費(印刷費56,602 配布委託20,355 点字録音7,877)										84,834 千円	
	諸経費(報償費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等)										541 千円	
										千円		

事務事業名	広報ひらかた発行事業				
事業開始年度	昭和26年度	担当部署	市長公室 広報課		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
	① 発行回数(通常号)	回	12	12	12
	② 発行回数(特集号)	回	2	2	4
	③ 年間発行部数	冊	2,430,300	2,521,950	2,912,000
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/発行回数(通常号+特集号)	円	9,081,786	8,749,071	9,458,250
	② 総事業費/年間発行部数	円	52	49	52
	③				
成果目標 (目標とする成果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の皆さんに必要な行政情報を正確に分かりやすく発信する。 広告費の増収を図ることで1冊にかかるコスト削減に努める。 親しまれる紙面づくりのため、市民参加を促進する。 				
事業の自己評価	<p>広報紙で多くの情報を発信し、より分かりやすく市民に伝えられるよう、幅広い情報収集と迅速かつ丁寧な取材を徹底している。</p> <p>①市民の感想や意見・提案、各部署の職員のアドバイスなど多くの声に耳を傾け、月1回開催している編集会議で内容や構成を考えている。</p> <p>②平成20年1月に目次のページを1ページに拡大し、より検索しやすい紙面とした。</p> <p>③内容の充実や見やすい紙面作りに向け、年1回のリニューアルを行い常に改善を加えている。</p> <p>一方で、広報紙としては分厚く、字数も多く読みづらさがあるとの声もいただいている。今後は字数を減らしたり、文字のポイントを大きくしたりして、さらに読みやすい広報紙づくりに取り組む必要がある。</p>				
今後の事業の方向性	引き続き、分かりやすい紙面づくりと経費削減に努め、目標に向かって取り組みを進める。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙は、A4判の冊子型を発行する自治体が増えてきている(大阪府下では21年度30市町村がA4判、近隣では大東市、四條畷市、交野市、茨木市、豊中市など)。 分かりやすい記事は質・量・デザインともに高い評価を受けている。 大阪府や近畿の広報紙コンクールで入賞(平成17年度、18年度2年連続大阪府広報コンクールで特選を受賞。また毎日新聞大阪本社主催の近畿市町村広報紙コンクールでも平成13年から8回優秀賞を受賞)。 				
特記事項					

1. 広報ひらかたの現在までの経緯

年度	取り組み内容
平成元	「広報委員協議会」を設置し、広報紙のあり方への意見具申を求めた。「A4判を採用し、紙面のコンパクト化を図り、情報の質の充実を目指すべき」との意見を受ける。
4	平成4年度に2回にわたりA4判を試行発行。市政モニターへの電話アンケートでは7割以上の市民が支持するも、印刷コストが2倍以上となるため、本格実施を断念。
8	コンパクト化を図るために、9月1日号からブランケット判をタブロイド判に切り替える。
15	11月号でA4判を試行発行。市政モニターへの電話アンケートでは8割の市民が支持。
16	A4判の普及により、印刷コストに差が生じないことから、5月よりタブロイド判月2回の発行から、A4判（2色刷り、48ページ）で月1回発行に変更。
18	毎月1回に加え、市政の重要な課題をより具体的にわかりやすく伝えるとともに、緊急情報をタイムリーに発信するため、特集号の発行を開始。

◎平成20年2月に市民2000人を対象にアンケート調査実施（回答数900人）。

《主な調査結果》市の情報の入手方法は広報ひらかた＝89％／発行回数は月1回程度の発行を希望＝90％／ページ数は50ページ前後を希望＝73％

◎委託業務について

企画、取材、記事作成以外の「デザインを含む版下作成」「印刷製本」「配布」を委託

2. 大阪府下の広報発行状況（平成21年度大阪府調査より）

43市町村のうち、30市町村がA4判（市は22）。

【A4判近隣市の広報発行経費等の状況】

市名	発行形態 ページ数	1回の発行部数	1部の印刷単価	1部の配布単価
交野市	A4判月1回 32～44	30,300部	24.55円	11.3円
大東市	A4判月1回 28～36	54,400部	34.76～ 42.53円	1.22円 (自治会)
四條畷市	A4判月1回 24か28	24,500部	29.71円/24頁 32.94円/28頁	12円
茨木市	A4判月1回 40～56	123,000部	21.6～27.5円	7.5円
豊中市	A4判月1回 48	185,000部	34円	6.8円

3. 発行費用等

※平成16年度（5月号）からA4判2色刷りで月1回（1日）発行

年度	ページ数 （）は特集号	1号あたりの 発行部数（平均）	年間印刷委託料 （）は52頁1冊の単価	年間配布委託料 （）は52頁1冊の配布単価	点字録音広報 年間作成委託料
20	52（12）	173,593部	55,155,676円 （25.16円）	25,218,351円 （10.92円）	7,748,815円
21	52（12）	180,139部	56,602,459円 （24.80円）	20,354,744円 （7.8円）	7,877,116円
22	52（12）	182,000部 ※予定部数	75,920,000円 ※上記年額は予算額 （24.15円）	30,028,000円 ※上記年額は予算額 （6.5円）	8,446,000円 ※上記年額は予算額

4. 有料広告収入

平成17年8月号から導入。1ページの8分の1を1枠として、1号につき最大でA4判1ページ半（12枠）分の広告を掲載。掲載内容については、市の「有料広告取り扱い要綱」に基づき広報紙の「取り扱い基準」を定めて審査。広告募集などの業務は、広告代理店に委託し、年間広告料納入枠数（72枠以上/月平均6枠以上）を設けている。

【広告収入の推移】

年度	単価	内 訳	年間広告収入
20	85,000円	20年度 85,000円×88枠＝7,480,000円 19年度 80,000円×4枠＝320,000円	7,800,000円
21	63,000円	21年度 63,000円×127枠＝8,001,000円 20年度 85,000円×18枠＝1,530,000円	9,531,000円
22	63,000円	63,000円×31枠＝1,953,000円 （月平均10.3枠）	1,953,000円 ※6～8月3か月分

5. コンクール参加状況

◎大阪府広報コンクール（日本広報協会大阪支部主催）

平成17・18年度2年連続「特選」を授賞し全国コンクールへの推薦を受ける。20年度は入選。

◎近畿市町村広報紙コンクール（毎日新聞大阪本社主催）

平成13年度から平成21年度まで優秀賞を受賞（19年度は不参加）